

## ～アメリカでの生活～

アメリカと日本では何もかもが違うような気がしました。一番それを感じ興味深かったのはやっぱりリンカン高校でした。それ以外も少しは日本と似ているところもあったけど、すべてにおいてアメリカの方が、すごく個性的という感じでした。毎日とても刺激を受け、とてもいい経験になりました。

### ～ファースト フード～

マクドナルドはさすがにどこにでもたくさんありました。でも日本のようにテリヤキバーガーはなく聞いたこともないようでした。ハンバーガーやポテトの味はほとんど同じだったけど、やっぱりアメリカの方が安かったです。でもコーラとかはくらべものにならないくらい大きくて飲みきれませんでした。Sサイズでも大きかったです。ジュースだけでなくポテトもそうでした。

ハンバーガーなんかは注文するのも簡単だったけど、サンドウィッチの時は困りました。チーズやパンの種類など何種類もある中から選ぶので大変でした。パンはたぶん4種類くらいあったと思うけど White しか聞き取ることができなくて結局私の食べたかったのとは違うものになってしまいました。

あと、セブンイレブンが日本のようにたくさんありました。私は日本にしかないと思っていたのでびっくりしました。けど日本にもあると言うとコリーンも驚いていました。でも聞いた話ではアメリカに本店があってそこから広がっていったそうです。見かけも看板も全く同じでした。

### ～レストラン～

ピザ、スパゲティ、ステーキ、日本料理店といろいろつれて行ってもらいました。こっちは何でも量が多いので、食べられなかった時はいつもパックに入れてくれるので持って帰ってきました。スープまでもちゃんとカップに入れてくれました。ウエイトレスさんもとても親しみやすく、アイスクリームの種類など、とても丁寧に説明してくれました。レストランだけでなく本当に気軽に話しかけてくれます。歩いていたら、急に「I like your shoes.」と声を掛けてくれた人もいました。アメリカのそういうところがわたしは大好きでした。





### ～日常生活について～

お手伝いは少ししかしませんでした。というより余りすることがなかったように思いました。洗濯も自動洗濯機に乾燥機があるから、ただ入れて取り出すだけだったし、食器洗いも全て自動食器洗い器がやってくれました。

自動食器洗い機なんて見たことなかったけど、アメリカではほとんどの家にあるようでした。日本でも持っている家はあるかもしれないけど、たいていの家にはないと説明すると、手で毎日洗っているなんて信じられないようでした。実際にとっても便利なのですがけっこう大きく場所を取ってしまうのが難点だと思いました。

朝はほとんどシリアルを食べました。日本にもよく売っているコーンフレークです。それにフルーツにジュースでした。ホットシリアルというのも、一度食べてみて、白い粉みたいのにお湯をかけて、黒砂糖をかけて食べるんだけど余りおいしくなかったです。

昼は学校にお弁当をもっていきました。お弁当と言っても日本のようなのは全く違いました。紙袋にバナナとクッキー、あとパンが一つはいつてる簡単なものでした。なんかアメリカらしいなと思いました。でも学校にもリサイクル用にごみ箱がわかれているのには感心しました。

### ～映画～

こっちは本当に映画が好きみたいです。映画館で見たり家でビデオを見たり。でもアメリカで人気のあるものと、日本で人気のあるものはほとんど同じでした。映画は、昼間一本3ドルちょっとととても安く見ることができます。夜はもう少し高かった気がします。夜や休日はとてもこんでいて席がなかったので、仕方なく一番前で見ました。こっちはみんな大声で笑ったり、よい場面ではつい拍手したり、驚いたりと反応がとても面白かったです。字幕がなくて全部は理解できなかったからなんとなくで見ました。あとポップコーンの大きさには本当にびっくりしました。見てるだけでお腹いっぱいになりました。

### ～ショッピング～

売っているものなどは全く日本と同じだったけど値段が安くてびっくりしました。NIKEのTシャツでも5ドルで買えるものもありました。こっちでお買い物していると日本の値段が信じられなくなってきました。店員さんもとても気持ち良く接してくれます。一つのデパートの中だけでも何人にも「How are you」とか「どこからきたの?」とか声をかけられます。最初は嬉しくて一人一人にちゃんと返事していたけどそのうち面倒になるくらいでした。でもやっぱりこういうのっていいなと思いつつ歩きました。アメリカだと自然に感じたけど日本におきかえてみると、知らない人何人にも声を掛けられるなんてちょっと有り得ないことです。そしてCD売り場に日本のものはほとんどありませんでした。私がみたのも南極物語とCAT'S だけでした。

そしてクリスマスが終わるとクリスマスに関するもののSALEが始まります。半額以下になるものも沢山あるのでクリスマスが終わったというのにたくさん買いこんでいる人がいました。来年のためだそうです。

スーパーもとてもおおきかったです。パンだけでも何十種類もあるしドレッシングシリアル、何をとっても本当にたくさん種類がおいてありました。日本のものは日清のカップヌードルやグリコポッキーなどが売っていました。パッケージは同じだったけどカップヌードルはコーンとか入っていて味が少し違いました。



## ～リンカン高校～

一日目学校へ行くとき、なんだかとても緊張しました。学校へは毎日送り迎えしてもらいました。そしてまず驚いたことは、廊下に歩くのが大変なくらい生徒がいたことです。慣れてしまえば平気だったけど最初はそれだけで疲れました。こっちの学校には自分の教室というものがなく、廊下に一人一人のロッカーがあるのでみんな廊下にいるのです。そして時限ごとに自分の選択している教科の教室へ移動するのです。教科は私達と同じような教科からフォトグラフ、ドラマ、グラフィックデザインのような珍しいものまでたくさんありました。外国語も日本語を初めフランス語スペイン語、その他たくさんありました。好きなものを選ぶのですが進学希望の人は数学を取ったほうがいいとかあるみたいです。そして毎日同じ時間割りが繰り返されます。

授業は先生が話して、それについて生徒が質問したり、意見を言ったりで、生徒中心にすごく積極的に進められていました。黒板なんてほとんど使っていませんでした。本当にみんなどんどん自分の意見を言いあって、けんかをしているように見えるくらい一生懸命な人もいました。きっとうちの学校ではあり得ないだろうなあと思いました。だからみんなどんな意見を言っているのかすごく興味があったけど、いつもよりずっと早口でとても理解することはできなく、すごく残念でした。

制服は勿論なく、ピアスとかパーマとかも自由ですごく個性的なので、見るだけでも楽しいくらいでした。それに信じられないくらい大人っぽい人がたくさんいました。七つもピアスしていたり、お化粧をしていたり全然生徒に見えないような人でさえ自分の意見を言ったり、顕微鏡を覗いたりしてちゃんと勉強していました。そして、リンカンの生徒になぜ北陵高校には制服があるのか、なぜパーマをかけてはいけないのか聞かれました。でもはっきりと答えることはできませんでした。先生達は机に座っても、遅れてきても、ガムをかんでも何も言いません。だから見た目では日本のほうがきちんとしているように見えるけど、私はリンカン高校のほうが、一人一人授業に参加して自分の意見をはっきりいうことができずっと良く見えました。先生達もやりがいがありそうです。



(リンカン高校、日本語クラスの教室で)



そして先生によって私をクラスに紹介してくれる時と全然かまってくれないときがありました。でもとにかくいろいろな人種の人が出て、髪の色もみんな違うので私をリンカンの生徒に間違える先生もいて、宿題を出せと言われたこともありました。

そのため誰もじろじろ私達を見たりする人なんていませんでした。日本とは少し違うようです。でもみんな気軽に話しかけてくれたり笑わせてくれたり、本当に楽しかったし、嬉しかったです。

そしてやっぱり一番興味深かったのは日本語クラスでした。4年生にもなるとともうまくて会話文を作る宿題で「弟は12才です」「それでは反抗期ですねえ」というようなのを作っていて感心した。でもアメリカに初めて日本語の難しさを知った気がしました。日本語は本当に難しいと思います。

そしてみんなの前で本を読んだりするときは間違えてはいけないと思って凄く緊張しました。でも唯一理解のできる楽しい授業でした。

本当に何から何まで楽しくてこのままずっとリンカン高校に通いたいと思いました。

。今までテレビで見たり話に聞いたりはしていたけど、アメリカの高校の雰囲気というのは行くまで本当に分かりませんでした。でも行って見てすごく憧れました。やっぱり日本ではあんな感じの授業はできないだろうと思いました。

この3週間、本当にたくさんの貴重な体験ができました。またいつか行けるように頑張ろうと思います。そしてこの経験をこれからに活かしていきたいと思います。

。

(ホストファミリーと空港で～

)

